

きたかみ未来創造会議

創造NEWS 第8号

2009.4.22
第8回会議
提言書の
まとめの巻

新しい総合計画基本構想案の策定に向けた「第8回きたかみ未来創造会議」が4月22日（水）に開催されました。

今回は、これまでの議論の積み重ねをまとめた提言書の内容について、最終確認を行いました。

■第8回「きたかみ未来創造会議」の概要

これまで7回の議論により整理された「北上市総合計画基本構想への『提言書』」の内容について、本当に自分たちが議論した内容が「反映されているか」「市民と共有できるものになっているか」という視点から確認し、市民にわかりやすいキャッチフレーズとして、表現を見直しました。

はじめに、事務局である北上市政策企画課から、提言書の内容について説明がありました。

提言書は、「まちづくりの理念」と「北上市の将来像」、そして将来像の実現に向けた「まちづくりの目標」（6分野）がどのような議論の積み重ねで、創られてきたかをまとめたものになっています。

会議の経過をふりかえりながら、再度、全体の議論をメンバー一人ひとりが整理できる時間となりました。

説明の後には、各班で提言内容を確認し、最終のまとめに向けた検討を行いました。前回会議で第一優先案となった理念や将来像、そして分野別の目標について、表現の確認を行い、各班とも「熱意」と「こだわり」により、真剣な議論が交わされました。

班ごとに検討結果を発表した後、全体での議論を通じて、それぞれの案の考え方や何を本当に表現して市民の皆さんに伝えたいのか、この2点を参加した全員で共有できたと思います。

今回整理された内容は、未来創造会議からの提言として、市に報告され、市では、提言書をもとに庁内の策定委員会で原案を検討し、審議会での議論を踏まえ、基本構想案を作成して参ります。

基本構想案は、6月下旬～7月に開催を予定するフォーラム（市民や未来創造会議、市内16地区の地域計画に携わっている方々などを対象）において、皆さまにご確認いただく予定です。

前半の一区切りとなりましたが、約半年に及ぶ長期にわたり、また、それぞれお忙しい中、会議にご協力いただき、大変ありがとうございました。

次回からは、私たちが目指す将来像の実現に向け、より具体的に検討に入ります。（8月下旬～予定）
基本計画（基本構想を実現するための具体施策の展開）を策定するに当たり、特に市民の視点から、それぞれの施策にどのような成果指標が必要か、市民と共有できる目標づくりや目標達成に向け、市民、地域、企業、行政それぞれの役割分担について検討する予定です。

きたかみ未来創造会議は次のステージへ・・・ これからも引き続き、ご協力をお願いいたします。



提言書の説明



提言書の表現の確認



各班の修正案の発表



全体での議論

まちづくりの理念

最終案

全体討論での意見

各班での意見交換

原案

まちづくりの理念 第一優先提案：
みずか

自らが創造し、生き活きと協働するまちづくり

「協働」は言葉が難しいということがあるかもしれませんが、「活動」だとひとつだけ、「協働」だとみんなで、ということが含まれるので、「協働」ははずせないのではと思います。「自ら」はルビをふらないと読めないかもしれません。それから、「創り」というのと、もう少し想いをこめながら創るという違いは、「創る」と「創造する」の違いにあるのではないかと思います。

「自らが」という漢字が読めないかもしれないですね。ただ、今まで使われている「私たちが」が「自らが」に変わったという意味合いがあると思います。

活動と協働に関しては、10年後、市民の声として市民がわかるという観点に立てば、10年経って、協働というのが、今みんなが考えているような協働になっているという見込みがあれば、「協働」に賛成です。

ひらがなのほうがいいかなと思っていましたが、「自らが」が読めないとすれば、ルビをふればいいのかなと思いました。

(1班) ・「協働」と言う言葉が市民にはピンとこないのではないかな。わかりづらい。
協働する→活動する

最終提案：「自らが創造し生き活きと活動できるまちづくり」

(2班) ・笑顔を追加したい

- ・“協働”は手法 手法をフレーズに入れてOK？
- ・“協働”の意味がわかるかなあ…

・民・官・企が協力してみんなで作るのが協働

最終提案：「自らが参加し、生き活きと創造するまちづくり」

(3班) ・みんなで関わる協働の…

- ・“協働”がわからない
- ・自ら→みずから 生き活き→いきいき
- ・自ら→みずから

最終提案：「みずからが創造し、生き活きと協働できるまちづくり」

(4班) ・自らがより 私たちが のほうがいいのでは

最終提案：「自らが創造し生き活きと活動できるまちづくり」

(5班) ・笑顔で (の)

- ・「自らが創造し」→「自らが未来を創(つくり)」
- ・自ら→私たち 創造→育くむ
- ・創造し→創り
- ・自らが創造し→みんなが主体となって
- ・自ら→私たち 創造→創(つくり)

最終提案：「自らが未来を創(つくり)、生き活きと協働できるまちづくり」

(6班) 最終提案：「自らが創造し、生き活きと協働できるまちづくり」

まちづくりの理念 第一優先提案 (当初案)：

自らが創造し、生き活きと協働するまちづくり

北上市の将来像

最終案

北上市の将来像 第一優先提案：

自然と先端技術が調和する心豊かな夢のあるまち

全体討論での意見

「心豊かな」という言葉をどうこうと言うわけではないのですが、それと「夢のあるまち」を重ねるとくどいというか長ったらしいというか、ちょっとぼける気がするので、なくてもいいのではないかと思います。

個人的に「心豊かな」が好きなのですが、産業が発展すると心を忘れがちになってしまう気がするので、心があつたほうがいいと思います。

先端技術は、工業だけでなく、農業など様々な面であるので、産業が発展したからといって、心がすさむことはないのではないかと思います。

各班での意見交換

- (1班) ・言葉が多すぎるのではないか。
 - ・心豊かな・夢のある どちらか抜くべきではないか
 - ・先端技術の「先端」はいらぬのではないか最終提案：「自然と技術が調和する夢のあるまち」
- (2班) ・先端技術が冷たい
最終提案：「自然と先端技術が調和する心豊かな夢のあるまち」
- (3班) ・“先端”を取るが何かが必要
 - ・「先端」技術→「独自（オリジナル）」？最終提案：「自然と先端技術が調和する心豊かな夢のあるまち」
- (4班) ・将来→心豊かな →現在は心貧しいなのか。だからいらぬ。
最終提案：「自然と先端技術が調和する心豊かな夢のあるまち」
- (5班) ・先端技術→産業
 - ・心豊かな→いらぬ最終提案：「自然と先端技術が調和する心豊かな夢のあるまち」
- (6班) 最終提案：「自然と先端技術が調和する心豊かな夢のあるまち」

原案

北上市の将来像 第一優先提案（当初案）：

自然と先端技術が調和する心豊かな夢のあるまち

まちづくりの目標：保健福祉

最終案

子育てと医療・福祉の充実した夢のあるまち

全体討論

そのままにしてほしいです。「笑顔あふれる」というのが10年前の計画にある言葉なので、さらにまた10年後ですから、「夢のある」に変えた方がいいのではないかと思います。

「夢」というところに希望などがあつたので、そのまま残してほしいと思います。先ほどの北上市の将来像で、「夢のある」が入っているから、こちらははずしていいのではないかというご意見がありましたが、その辺の整合性で問題があれば、北上市の将来像で、「心豊かなまち」というように整理して、ここは「夢のある」を残しておいてもらえたらと思います。

各班意見

- ・将来像の中にも「夢がある」が入っているのではいけないのではないか
→子育てと医療・福祉の充実したまち
- ・「夢のある」を「笑顔あふれる」に変更する
→子育てと医療・福祉の充実した笑顔あふれるまち

原案

子育てと医療・福祉の充実した夢のあるまち

まちづくりの目標：教育文化

最終案

生きる力を育み文化が躍動するまち

全体討論

「息づく」だと静かすぎるので、文化をもっと活用するんだという意味を込めて、また、鬼剣舞にひっかけているところもありますので、「躍動する」にさせていただけたらと思います。

各班意見

- ・文化を心と体に変える
→生きる力を育み心と体が躍動するまち
- ・生きる力→学ぶ力
→学ぶ力を育み文化が躍動するまち
- ・文化が躍動→いきいき 活気
→生きる力を育み文化が息づくまち

原案

生きる力を育み文化が躍動するまち

まちづくりの目標：産業雇用

最終案
↑
全体討論
↑
各班意見
↑
原案

独自の技術と資源を組合せ 活気うまれるまち

「独自の技術」だと、広がり少なく小さくなる気がします。

- ・独自の技術→独自の技術の方がいい
- 独自の技術と資源を組合せ 活気うまれるまち

独自の技術と資源を組合せ 活気うまれるまち

まちづくりの目標：基盤整備

最終案
↑
全体討論
↑
各班意見
↑
原案

※事務局検討提案

(後日検討結果) →誰もが多様に暮らし続けられるかたちのまち

デザインというと、ハード的なものにいきがちですが、ソフト的なものでもあると思うのですね。それも含めて北上独自なものを創り出すという意味で「きたかみデザイン」だと思います。ただし、注釈を付けないと、「きたかみデザイン」とは何だろう?というはあと思っています。

「きたかみデザイン」という言葉がわかりません。注釈を読んでもわからない。見てわかる言葉にしてほしいと思います。

→「きたかみ独自のまち」、「誰もが安全に安心して暮らすことができるまち」がほぼ同数でしたので、事務局で今後よい言葉がないかをさらに検討して、後日、皆様に報告をさせていただきます。

- ・多様な暮らしに「対応する」
- ・北上デザイン→北上らしい独自
- 多様な暮らしに対応するきたかみ独自のまち
- ・きたかみデザインをきたかみ独自のまちづくりに変更する
- 多様な暮らしを支えるきたかみ独自のまちづくり
- ・きたかみデザイン→全ての人に配慮した
- ・きたかみデザイン 分かりづらい
- 多様な暮らしを支える誰もが安全に安心して暮らすことができるまち
- ・注釈 “きたかみデザイン” がストレートに分かりにくい。注釈で表現してわかりやすく。

多様な暮らしを支える “きたかみデザイン” のまち

まちづくりの目標：生活環境

最終案
↑
全体討論
↑
各班意見
↑
原案

きれいな自然と心を育むまち

修正案「きれいな自然と心を育むまち」に多くの賛成をいただきました。

- ・自然と心を強調するためのスペースを入れる
→自然も 心も きれいなまち
- ・心もを人の心もにしてはどうか
- ・自然もまちもきれいなきたかみ
→自然も人の心もきれいなまち
- ・育むという文字を入れる
→きれいな自然と心を育むまち

自然も心もきれいなまち

まちづくりの目標：推進体制

最終案
↑
全体討論
↑
各班意見
↑
原案

市民自らが主導し行政や企業と対等に役割分担、協働するまち

「協働」とは市民、行政、企業が一緒になってやることだとしか、そう捉えられやすいと思います。「対等に」が重要で、それを取ってしまうと、ただ一緒にやることと受け止められたら危険なのではないかと思います。言葉上、「対等で役割分担する協働のまち」のほうが良かったかなあという感じもします。

最初に「市民自らが主導し」とあるので、市民が自発的にことを起こすというように私は受けるので、「対等に」というのは入れなくていいと思います。市民が主導しながら、行政や企業とやっていくべきではないかという意味で、除いていいのではないかと思います。

「対等に役割分担」というのは強調です。「対等に役割分担」は、現状において協働を正しく理解している人にとっては書かなくてもいいのですが、書くことによって、意識して10年後に向かって進んでいけるという思いで表現しました。ただ、10年後にこうなっているという目標であれば、そこに向かっていく意味で、協働の意味についてみんなで考えていくということにつなげていけるのであれば、これは取ってもかまわないと思います。対等に役割分担していくということを明確にすることが今の時点では重要なので、あえて入れたいと思います。

- ・長すぎるので「市民自らが主導し行政や企業と協働するまち」でいいのではないかと
→市民自らが主導し行政や企業と協働するまち
- ・対等に役割分担の表現を変える
→市民自らが主導し企業と行政がしっかりささえる、協働のまち
- ・対等に役割分担を重複しているので削除する
→市民自らが主導し行政や企業と協働するまち

市民自らが主導し行政や企業と対等に役割分担、協働するまち

<ふりかえりカードから>

○短い時間の中で、なんとか意見を集約でき、良かったのではないかと思います。

○もっと話し合いたいと思えるほどみんなが共通の想いをもてたのが収かかったと思います。次からの議論も楽しみです。

○良い所、悪い所から始まって北上を考え、最終提言をひとつの言葉をつくるのは非常にむずかしい。この場にいたことは、光栄でもあるが責任重大だった。

○今回のような作業を、もう少し前の段階で、少し違った手法で、もっと時間をとって行ったら良かった気がする。

○日本語は難しい。

○「合意」を「決定」というのは意外とむずかしい作業だと感じました。総合計画を小学生から大人までたくさんの方がどんな風に学び合うのかその方法も工夫していけたらいいのではないのでしょうか。

○それぞれのグループで話しあって作りあげたおもいを再確認できた本日でした。

○どんな言葉をつかうか、選択する作業が難しいと感じた。後半、見た側の意見と作った側の意見のやりとりがあったが市民に出した時にも同じことが起こるのだなあと感じた。作った側のみ走ってしまわないように、見た人にもどうやったら共感を得られるか、難しいと感じた。とても勉強になりました。ありがとうございました。

○ここまで議論して来たのだから、「理念」・「将来像」・「目標」のバランスを整理すること（ダブっている言葉を整理する等）に力をいれるべきだ。これまでのルールに反していると思う。（否定しづらいし、したくない。）意見を言えない人が出たと思われます。

○個人の想いってすごいんですね。

○提言書までこぎつけた。いろいろな人があつまって意見を出し合うと、良いものが生まれる。

○よくまとめてあり“文句のつけようがない”のですが、“100点満点ではない”という意味で、あえて意見を出させていただきました。

○今日は議論したような気がした。

○これまでたどり着くのが大変であった。理念、将来像を創る事の大変さが身しみてむずかしさがわかった。この提言を十分に生かされる様望みます。今後の経過は届けてほしい。

○10年後の市民への提言を改めて見直すと市民にわかりにくい語彙が使われている箇所が見える。（話し合い時間の不足）

○10年後に北上市が存在しているか？3市2町が合併を想定したウラ（第2）キャッチフレーズを考えてみたらいかがかな。

○4回～6回まで所用で欠席しましたが内容の進行状況に感心しました。次のステージの展開を楽しみにしています。

○皆様おツカレ様でした。どうにか自分の思いが文字に表現されたが、成果はどの様なものになるのか…

○最終的に1つに物事をまとめることは非常に難しいなと思いました。しかし、何も無い状態からここまで作り上げたことに達成感を感じます。

○未来創造会議の意見がほぼ盛り込み出来たと思います。基本計画に移るのが楽しみです。

○みなさん大変おつかれさまでした。引きつづき次回以降もよろしくお願いいたします。

○参加者よりいろいろな意見が有り、良かった。次回も参加したいと思います。スタッフの方ごころうさまでした。

○この会議に参加して「きたかみの未来」を多くの人と考えたことは、素晴らしいことでした。ありがとうございました。